



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



●9月4日 燕市文化会館
 笛人本宮宏美「ふるさとコンサート2022」

燕市PR大使の本宮宏美さんが「ふるさとコンサート2022」を開催。コンサートでは、大河津分水通水100周年の記念楽曲などを披露し、素敵な音色を奏でました。



●8月21日 燕市文化会館
 あの人気長寿番組がやってきた!

「出張!なんでも鑑定団in燕市」の公開収録が行われ、驚きの鑑定結果に会場は大盛り上がりでした。番組は、10月1日(土)の午後4時30分からNSTで放送されます。



●9月10日 燕市産業史料館駐車場
 消防の仕事を楽しく学びました

安全安心を守る消防の仕事を学ぶことができる「消防防災・救急フェア」が開催。多くの子ども連れが、ミニ消防車の乗車や消火訓練を体験して楽しみました。



●8月25日 大河津出張所前
 大河津分水通水から100年の日

通水100年の日。安心と豊かさをもたらした大河津分水に「ありがとう」。後日開催された大河津分水サクスフェスタの様子はこちら▶

今月のつばめっ子

●元気なつばめの子どもの様子をお届けします!



●8月25日 大河津出張所前
 通水から100年の日 大河津分水に感謝の想いを伝える

大河津分水が通水して100年の節目の日、分水中学校の生徒による学習発表会と吹奏楽の演奏が行われました。学習を深めるほど、大河津分水のもたらした恵みや安心の偉大さを実感した様子。これまでの感謝の気持ちを込めた素敵なメロディーが大河津分水に響き渡りました。



なるほど! 長善館

長善館史料館 ☎0256・93・5400

●1833年に創設された私塾「長善館」。革新的な教育を行い、約80年の運営で約1000人の塾生を輩出しました。

▶長善館門下生の一人 大竹貫一(1860-1944年)



▲大竹貫一記念館の庭にある「人」をかたどった池。

長岡市中之島の大庄屋の32代目を継いだ大竹貫一は、11歳で長善館に入門し、暢軒に学んでいます。村議、県議を経て明治27年に34歳で衆議院議員に初当選しました。国会では大河津分水の建設はもとより、納税額に関係なく25歳以上の男子に参政権が認められた普通選挙法の改正をはじめ多くの功績を残しています。

“人の役に立つこと”を信念に活動した34年余りの議員引退後は、中之島の実家で余生を過ごしました。庭には「人」をかたどった池があり、四季の移ろいとともに見守っていたことでしょう。一途に人に寄り添った人生を送りました。



▲「踊るファウヌス像」のプロトタイプが特徴的なスプーン

燕市産業史料館
 ☎0256・63・7666
 ■入館料
 大人400円
 高校生以下100円
 ※団体割引あり
 月曜日休館(祝日の場合は翌平日休館)

燕市産業史料館では、10月7日(金)〜11月13日(日)まで「松浦靖世界のスプーン展第7章〜スプーンで巡る世界紀行〜」を開催します。

京都在住のスプーンコレクター松浦さんが、世界中を旅して出会ったスプーンを紹介する展覧会です。今回のポスター作品となっているスプーンは「踊るファウヌス」のブロンズが特徴のポンペイのスーベニア(お土産)スプーンです。「踊るファウヌス」とは、牧神(田や森など大地を守る神)ファウヌスの躍動的なブロンズ像のことです。

「踊るファウヌス像」が発見されたのはポンペイ随一の邸宅で、像の存在により「ファウヌスの家」と名付けられました。ヘレニズム(ギリシア風の文化)彫刻の傑作です。そのファウヌスがモチーフのこのスプーンは、実に精巧に作られています。

今年は大河津分水通水100周年。「越後平野の守り神」ともいわれる分水路は、「新潟のファウヌス」的な存在かもしれません。スプーンから読み取れる歴史や文化、世界中の暮らしの姿を見つめてみませんか。

今月の一品

踊るファウヌス像(ポンペイ)スプーン



大河津分水コラム
 次の100年に向けて
 100周年で
 来館者100万人



▲写真上がリニューアル前の資料館。外観をそのままに平成14年に全面リニューアル。

昭和53(1978)年10月28日に開館した信濃川大河津資料館の来館者数が、令和4年9月15日に100万人に達しました。資料館を含めた大河津分水の活用を燕市民の皆さんが推し進めてくださったおかげです。信濃川大河津資料館よりこの場を借りてお礼を申し上げます。

特に印象深い出来事は、平成14年4月の全面リニューアルと、令和3年に開催されたプレミアムダイニングです。かつては堰の操作室と同じ建物内にあった資料館ですが、リニューアルを機に単独の資料館としての建物となり、展示スペースは約2倍に、講演会などを開催できるホールや風雨を気にせず大河津分水を眺望できる展望室なども整備されました。

その展望室で開催されたイベントがプレミアムダイニング。一夜限りで資料館4階展望室が高級レストランに大変身し、大河津分水を眺めながら大河津分水の恵みを味わうことができる素晴らしい内容でした。これからも燕市民をはじめ多くの皆さんから愛される場所としていきたいです。

地域おこし協力隊の奮闘日記 vol.55

こんにちは。地域おこし協力隊 空き家担当の芦川です。

来る10月16日(日)、初の試みとして、まちなかで空き家相談会を開催します! 従来は「空き家の所有者」を対象に相談会を開催してきましたが、今回は「空き家の活用者」へ向けた相談会となります。実際に空き物件の活用をイメージできるような内覧や職人から学べるDIYワークショップを予定しています。

また、吉田の「いちび」やマルシェも同時開催ですので、欲しいモノや情報が手に入るかもしれません☆ 空き物件の活用を検討している人、吉田の賑わいを体感したい人、ご家族やご友人とお越しください! 相談会の詳細は15ページをご覧ください!

こちらのいちび通りが賑わいます!



燕市地域おこし協力隊
 あしかわ 芦川 穂子